

# リーダーズ

Council of leaders for  
parenteral and  
enteral nutrition

会 場

神戸国際会議場

会 期

2018年9月23日(日)  
24日(月)

# リーダーズ

Council of leaders for  
parenteral and  
enteral nutrition

会 場

松山市立子規記念博物館

会 期

2018年11月25日(日)

～栄養100年記念イベント～

## 第7・8回 栄養管理指導者協議会学術集会 (PEN Leaders) 講演記録集

### － プ ロ グ ラ ム －

#### ■ランチョンセミナー1

「経腸栄養管理法の理論と実際」

#### ■パネルディスカッション I

「NST 加算の診療報酬:専従?専任?」

#### ■パネルディスカッション II

「どのように栄養評価を行っている?」

#### ■パネルディスカッション III

「静脈栄養の現状を考える」

#### ■ポスターセッション(一般演題)

#### ■臨床研究セッション

#### ■パネルディスカッション IV

「長期在宅栄養管理の実際」

#### ■ランチョンセミナー2

「TPN:キット時代の処方の方考え方」

#### ■特別講演

「臨床栄養管理の歩みと課題」

#### ■臨床栄養に貢献した臨床栄養関連企業の 歴史と今後の展望(1)

#### ■記念講演

「『栄養100年』佐伯矩博士の偉業と栄養行政」

#### ■臨床栄養に貢献した臨床栄養関連企業の 歴史と今後の展望(2)

#### ■講話(高橋宏文師 栄養寺住職)

#### ■私の栄養管理履歴と後に続く方々へ (薬剤師、管理栄養士、看護師、医師)

#### ■講演

「漢字『栄養』の歴史をたどって」

# プログラム

9月23日(日)

11:40～11:45	開会挨拶 当番世話人：北出 浩章（関西医科大学総合医療センター 肝胆膵外科）
11:45～12:30	<b>ランチョンセミナー1 「経腸栄養管理法の理論と実際」</b> 演者：井上 善文（大阪大学 国際医工情報センター 栄養デバイス未来医工学共同研究部門） 共催：ニプロ株式会社
12:30～12:40	(休憩 10分)
12:40～14:40	<b>パネルディスカッションⅠ 「NST 加算の診療報酬：専従？専任？」</b> 座長：北出 浩章（関西医科大学総合医療センター 肝胆膵外科） 栗山とよ子（福井県立病院 内科） <b>PD1-1 加算にとられない栄養管理！NST 回診！</b> 西辻知恵美（関西医科大学総合医療センター） <b>PD1-2 専従・専任のいない当院のNSTの活動</b> 小田 利恵（医療法人愛心会 東宝塚さとう病院 栄養サポートチーム） <b>PD1-3 当院のNST 加算の算定とその問題点について</b> 亀山久美子（日本大学医学部附属板橋病院 NST） <b>PD1-4 当院のNST～専従要件がなくなっからの活動</b> 蓬田 隆治（公立藤田総合病院） <b>PD1-5 専従から専任へ転換後の現状と課題 ～管理栄養士の立場から～</b> 村上 理絵（独立行政法人労働者健康安全機構 山陰労災病院 栄養管理室） <b>PD1-6 NST 加算の要件見直しによる当院での変化</b> 本吉 佳世（独立行政法人地域医療機能推進機構 宮崎江南病院 栄養管理部） <b>PD1-7 管理栄養士をNST 専従から専任に変更したことでの変化</b> 坪井 彩加（大阪市立十三市民病院 栄養部） <b>PD1-8 函館五稜郭病院はNST 専従1名です</b> 目黒 英二（函館五稜郭病院 臨床検査科） <b>PD1-9 NST 専従者の業務－福井県立病院の場合－</b> 森川 渚（福井県立病院 栄養管理室）
14:40～14:50	(休憩 10分)
14:50～15:50	<b>企業プレゼンテーション</b> 司会：福永千佳子（関西医科大学総合医療センター NST）
15:50～16:40	<b>パネルディスカッションⅡ 「どのように栄養評価を行っている？」</b> 座長：白尾 一定（JCHO 宮崎江南病院 外科） 田中 誠（かりゆし病院 外科） <b>PD2-1 プレアルブミン（TTR）を栄養評価に用いるために</b> 松村 充子（公益財団法人天理よろづ相談所病院 臨床検査部） <b>PD2-2 臨床検査技師が行なうNST 活動における栄養評価</b> 山崎みどり（公益財団法人田附興風会医学研究所 北野病院 臨床検査部）
16:40～16:50	<b>総会</b>
16:50～18:30	<b>パネルディスカッションⅢ 「静脈栄養の現状を考える」</b> 座長：樋口 則英（長崎みなとメディカルセンター 薬剤部） 西口 幸雄（大阪市立十三市民病院 外科） <b>PD3-1 当センターにおけるTPN 投与の現状について</b> 福永千佳子（関西医科大学総合医療センター NST） <b>PD3-2 当院における静脈栄養の現状</b> 野呂 浩史（独立行政法人地域医療機能推進機構（JCHO）大阪病院 外科） <b>PD3-3 池田病院における中心静脈栄養の現状について</b> 西迫 直人（医療法人青仁会 池田病院 NST） <b>PD3-4 補完的中心静脈栄養（supplemental parenteral nutrition：SPN）療法の浸透とPICC 留置の増加が及ぼす栄養管理への影響</b> 篠原 徹（東京逓信病院 薬剤部） <b>PD3-5 栄養投与ルートとしてPN を選択した2症例－EN 不耐症例に対する早期PN の意義の検証－</b> 眞田 雄市（社会医療法人喜悦会 那珂川病院 外科）
18:45～20:00	<b>ポスターセッション、情報交換会</b> 会場：アリストンホテル神戸 16階 バルセロナ

## ポスター演題一覧（9月23日 18:45～）

- P-01 病棟栄養管理における薬剤師の役割を考える。～病棟薬剤師のできていること、できていないこと～  
片岡 聡（田辺中央病院 臨床薬剤部）
- P-02 エネルギー・たんぱく質制限は是か非か？栄養診断に基づく提言をした糖尿病性腎症の保健指導の1例  
坂本 聡美（富山県新川厚生センター）
- P-03 上肢機能訓練を中心とした集団療法  
山中 章平（医療法人青仁会 池田病院 リハビリテーションセンター）
- P-04 誤嚥性肺炎から敗血症となり、DIC で死亡した1例 ～一般病棟でできる治療・栄養管理とは何なのか～  
佐保 洸太（社会医療法人共愛会 戸畑共立病院 栄養科）
- P-05 当院における従来のNST セット検査と微量元素追加の試み  
衣笠 章一（兵庫県立加古川医療センター）
- P-06 当センターにおけるNSTの早期介入の評価  
大谷 真弓（埼玉医科大学国際医療センター 中央検査部）
- P-07 ハイネイゲルが口腔内粘膜損傷で摂食困難であった患者に対し再び経口摂取を可能とさせた1例  
奥 和晃（枚方公済病院 栄養科）
- P-08 腓胝十二指腸切除術の周術期栄養管理における理学療法士が担う役割  
松岡 森（公益財団法人田附興風会医学研究所 北野病院 リハビリテーションセンター）
- P-09 食道穿孔および消化管出血・下痢が遷延した症例に対する栄養管理の経験  
近藤 亜希（福井県立病院 NST 栄養管理室）
- P-10 鉄を含まない微量元素注射剤の病院内調製方法の検討  
池西 政幸（公益財団法人天理よろづ相談所病院 薬剤部）
- P-11 栄養剤の使用実績から考える経腸栄養の現状と課題  
竹内 静香（市立敦賀病院）
- P-12 当院の栄養サポート外来の経過報告  
小川 祐介（独立行政法人国立病院機構 高崎総合医療センター NST 消化器内科 外科）
- P-13 入院患者の栄養評価  
鈴木 浩之（春日井市民病院 整形外科）
- P-14 肺癌切除術前後の身体機能及び体組成変化の報告  
三浦 孝平（埼玉医科大学国際医療センター リハビリテーションセンター）
- P-15 脂肪乳剤の使用状況とこれから  
野村 晃（社会福祉法人恩賜財団 大阪府済生会泉尾病院 薬剤部）
- P-16 重症アルコール性肝炎による肝性昏睡に肝腎症候群を合併し栄養療法に難渋した一例  
森安 博人（南奈良総合利用センター NST）
- P-17 透析患者用経口アミノ酸・L-カルニチン・亜鉛含有補助食品「CKDA」の開発と有用性の検討  
荻野 晃（トーカイ薬局 中津川市民病院前店）
- P-18 大腿PICC始めました  
目黒 英二（函館五稜郭病院 臨床検査科）
- P-19 摂取食事重量からのエネルギー量算出による喫食量評価の意義  
大津 柚貴（医療法人愛心会 東宝塚さとう病院 栄養サポートチーム）
- P-20 病院外来通院中から訪問看護師が関わることで在宅療養が充実し在宅看取りができた医療依存度の高い直腸癌の1例  
松浦 明海（名古屋市療養サービス事業団名東区訪問看護ステーション）

## 9月24日（月）

8：30～10：00	<p><b>臨床研究セッション</b></p> <p>座長：天野 晃滋（大阪市立総合医療センター 緩和医療科） 小川 哲史（独立行政法人国立病院機構 高崎総合医療センター 消化器外科）</p> <p><b>臨床研究-1 微量元素に関するメディカルスタッフの理解度と亜鉛含有製剤による銅欠乏症を予防するための教育</b> 湧上 聖（宜野湾記念病院 内科）</p> <p><b>臨床研究-2 当院の神経難病患者における誤嚥防止手術実施の現状について</b> 階堂三砂子（堺市立総合医療センター 神経内科）</p> <p><b>臨床研究-3 末梢挿入式中心静脈カテーテル（PICC）から採血した血液を臨床検査に用いることは是か非か</b> 余村 求（公益財団法人天理よろづ相談所病院 臨床検査部）</p>
10：00～10：10	<b>（休憩 10分）</b>
10：10～12：00	<p><b>パネルディスカッションⅣ「長期在宅栄養管理の実際」</b></p> <p>座長：上原秀一郎（日本大学 医学部 外科学系小児外科学分野） 北河 徳彦（神奈川県立こども医療センター 外科）</p> <p><b>PD4-1 病院での薬物療法治療中から在宅医による栄養管理を行い長期生存しえた3例</b> 杉本 由佳（すぎもと在宅医療クリニック）</p> <p><b>PD4-2 HENからHPNへ変更したクローン病患者の一症例</b> 角田すみ代（公益財団法人天理よろづ相談所病院 看護部）</p> <p><b>PD4-3 長期HPN（home parenteral nutrition）症例に対するCVポート入れかえ時の対応</b> 吉川 正人（医療法人愛心会 東宝塚さとう病院 外科）</p>
12：00～12：10	<b>（休憩 10分）</b>
12：10～13：00	<p><b>ランチョンセミナー2「TPN：キット時代の処方考え方」</b></p> <p>演者：井上 善文（大阪大学 国際医工情報センター 栄養デバイス未来医工学共同研究部門） 共催：エイワイファーマ株式会社</p>
13：00～13：10	<p><b>次回学術集会のお知らせ・閉会挨拶</b></p> <p>第8回当番世話人：井上 善文（大阪大学 国際医工情報センター 栄養デバイス未来医工学共同研究部門） 閉会挨拶 北出 浩章（関西医科大学 総合医療センター 肝胆膵外科）</p>

# プログラム

11月25日（日）

9：25～	<b>開会挨拶</b> 当番世話人：井上 善文（大阪大学 国際医工情報センター 栄養デバイス未来医工学共同研究部門）
9：30～10：15	<b>I. 特別講演：臨床栄養管理の歩みと課題</b> 中村 丁次（神奈川県立保健福祉大学 学長）
10：15～10：20	<b>（休憩 5分）</b>
10：20～11：20	<b>II. 臨床栄養に貢献した臨床栄養関連企業の歴史と今後の展望（1）</b> II-1. 永田 泰士（株式会社大塚製薬工場 生産技術部 容器グループ） II-2. 高橋 志野（テルモ株式会社 ホスピタルカンパニー 国内販売推進医薬品） II-3. 中島 靖（株式会社クリニコ コーポレート・コミュニケーション部）
11：20～11：25	<b>（休憩 5分）</b>
11：25～12：10	<b>III. 記念講演：佐伯矩博士の偉業と栄養行政</b> 原 正俊（元厚生省 初代栄養指導官）
12：10～13：00	<b>昼食休憩</b>
13：00～13：40	<b>IV. 臨床栄養に貢献した臨床栄養関連企業の歴史と今後の展望（2）</b> IV-1. 松尾 浩（ニプロ株式会社 ホスピタルケア商品開発・技術営業部） IV-2. 國場 幸史（エイワイファーマ株式会社 研究開発本部）
13：40～13：55	<b>V. 講和</b> 演者：高橋宏文師（栄養師）
13：55～14：05	<b>（休憩 10分）</b>
14：05～15：25	<b>VI. 私の栄養管理履歴と後に続く方々へ</b> VI-1. 佐藤健太郎（薬剤師） VI-2. 足立香代子（管理栄養士） VI-3. 山田 繁代（看護師） VI-4. 松末 智（医師）
15：25～15：30	<b>（休憩 5分）</b>
15：30～15：55	<b>VII. 講演：漢字『栄養』の歴史をたどって</b> 井上 善文（大阪大学 国際医工情報センター 栄養デバイス未来医工学共同研究部門）
15：55～16：00	<b>閉会挨拶</b> 閉会挨拶：井上 善文（大阪大学 国際医工情報センター 栄養デバイス未来医工学共同研究部門）